

太宰府市文化財専門委員会会長

たなべ たかお  
田鍋 隆男 さん



一昨年は「令和」発祥の地として話題を呼び、今年は大宰府跡水城跡が国の史跡指定を受けて100周年という記念すべき年を迎え、現在太宰府市が推進している文化遺産の保存・活用政策にはずみをつけました。市民が悠久の歴史のなかに暮らし、多くの文化財が身近に存在している市は他にあまりないと思います。それ故に市民が文化遺産、文化財、市民遺産を保護し後世に伝えようとする意識が高いのには敬服します。最近の文化財専門委員会に於いて旧石器時代の石製遺物が審議されました。大宰府政庁の時代よりはるか昔の今から1万5千～1万2千年前のものです。そして突然の新型コロナウイルス禍による民俗行事が延期あるいは中止され、その後正確に伝承されるかの危機にさらされています。

新発見の文化財を一見し、郷土の人が築いた文化遺産をいつでも学習することが出来る常設展示室がある市立博物館の必要性を感じます。全国の自治体史の中でもトップクラスの『太宰府市史』全13巻を基柱に、太宰府市の歴史と文化財を視覚的に正確に知ることが出来る、私たちの学習拠点になればと思います。

## 特集

私のだざいふ、市政ニュース、トピックス ..... 2～5

広報だざいふ創刊1000号 ... 6～7

公式ホームページをリニューアルします ..... 8～9

新型コロナウイルスワクチンの接種について ..... 10

スマホ納付はじまりました ..... 11

子育て世代包括支援センター「うめっこテラス」～あなたの子育てを応援します！～ ..... 12

市からのお知らせ ..... 13～20

連載 ..... 21～29

なんでも情報コーナー ..... 30～37

太宰府の文化財 ..... 38

# 市政ニュース

## 子どもたちに夢を

### 地元金メダリスト藤本索子さんを迎えて

太宰府市出身の藤本索子さんは北京オリンピックソフトボールで上野選手らと共に金メダルを獲得された郷土のスターです。

本市での聖火リレーでトップランナーを務めていただく予定でしたが、残念ながら大宰府政庁跡での代替セレモニー開催も認められず、平和台での点火セレモニーに参加されました。

一方、サポートランナーの子どもたちは、代替セレモニーも叶わず、点火セレモニーへの参加も認めてもらえず、大変心苦しい思いでした。

そうした思いから、藤本さんに改めて本市にお越し頂き、大宰府政庁跡にて聖火トーチと金メダルを披露頂く会を開催しました。

サポートランナーの子どもたちが四王寺山をバックにトーチとメダルを持って撮影する姿は、まさにインスタ映えする絶好の風景となりました。

金メダルを獲得した当時の思いや点火セレモニーの様子なども話して頂き、子どもたちに何かしら感じてもらえるきっかけになったなら本望です。



藤本索子さん(前列右から2番目)と参加者で記念撮影

## 自治体間連携

### 高岡市「万葉集全20巻朗唱の会」オンライン参加

10月1日から3日まで、富山県高岡市で開催予定の「第41回高岡万葉まつり『第32回万葉集全20巻朗唱の会』」にオンライン参加するため、大宰府政庁跡で動画を撮影しました。

大伴家持が赴任した越の国として、高岡市の会場では会場とオンラインとで万葉集全4516首をリレー方式で歌い継ぐ予定で、万葉衣装をまとった楠田市長は大伴旅人の歌をはじめ3首を高らかに朗唱しました。



朗唱収録中の楠田市長